



## 令和 8 年度 (2026 年度) 事業計画の策定について

2026 年 4 月 1 日

一般財団法人ベターリビング

(一財)ベターリビングは、今年度の事業計画を、去る 3 月 3 日の理事会で決定しました。本計画は、財団運営の中期計画 (2024~2028 年度) を踏まえた、今年度の基本方針及び事業実施計画を定めたものです。以下に、新規・拡充事項等の概要をご紹介します。

### ベターリビング 令和 8 年度 (2026 年度) 事業計画 新規・拡充事項等 概要

#### (建築物のライフサイクルカーボン評価関係)

- 住宅部品等のCO<sub>2</sub>等排出量原単位の整備に関する業務開始に向けた準備を実施。
  - ・排出量原単位の策定・算定を支援。
  - ・国内の第三者検証等体制構築に参画するための要員育成、経験蓄積を推進。
- C A S B E E 認証業務を通じた、建築物ホールライフカーボン算定ツール ( J - C A T : Japan Carbon Assessment Tool for Building Lifecycle ) に基づく L C A 評価の実施と普及の促進。
- 国の建築物のライフサイクルカーボン評価に係る制度導入に関連して、建築物のライフサイクルカーボン評価について第三者認証等に関する業務の実施体制整備に向けた準備を実施。

#### (優良住宅部品関係)

- 「人生 100 年時代のリフォーム応援ナビサイト」の充実や、「住宅部品の省施工ガイドライン」に基づく検討等を進め、関係企業・団体のニーズや基準制定後の認定取得見込みを把握したうえで、新規品目の基準制定を推進。
- 建築物のライフサイクルカーボン評価が進む中で、住宅部品の環境性能に関する新たなラベルを設けるなど表示の仕組みの検討に着手。
- 高効率なガス給湯・暖房機等の普及活動と環境貢献活動を行う「ブルー & グリーンプロジェクト」の活動開始 20 周年にあたり、関係団体と協力し、これまでのプロジェクトのあゆみについて情報発信。あわせて、カンボジアでの植樹活動についてイメージキャラクターや S N S 等を活用した P R 活動を継続。

#### (性能試験・評定関係)

- 性能試験業務
  - ・ B L 部品認定に係る試験のほか、構造、材料・施工、環境・設備、防耐火、基礎・地盤分野の試験や試験内容に対する技術的提案を的確に実施。

<問い合わせ>住所：〒102-0071 千代田区富士見 2-7-2

担当：総合企画部

電話：03-5211-0562

### ○評定等・基準法性能評価業務

- ・材料・施工分野：技術審査証明での屋上防水、外壁補修工法、CN 関連の案件受注を拡大・実施。
- ・環境・設備分野：3 室型恒温恒湿試験装置を活用した建物空調設備機器関連案件の受注に注力。
- ・建築基礎・地盤分野：基礎の耐震化、環境負荷低減技術、長期利活用技術等案件を推進。
- ・防耐火分野：壁炉を用いた性能評価業務受注増へ取り組むほか、性能確認試験（一般試験）に小型炉を活用することで、申請者の負担軽減かつ効率的な申請に寄与し、顧客サービスを向上。

### （建築・住宅の評価関係）

- 住宅・建築評価センター全体の申請業務について、同一物件で複数の評価・審査業務の申請に対応できるよう、統一したユーザーインターフェース（J K H Cポータル）の検討を加速。
- 改正建築基準法の施行に伴い増加した戸建て住宅の確認申請の多くが住宅性能評価、省エネ適判、B E L S 等の他業務と併せた申請案件であることから、一括申請案件についての効率的なワンストップ審査体制を構築。
- 完了検査等の効率的なリモート検査の実施が可能となるよう、D X を推進。
- 日本建築行政会議構造適判部会作業部会等の機関横断的な活動を行い、最新の建築行政情報を顧客に提供するなどサービスを向上。

### （ISO マネジメントシステム審査登録関係）

- ペーパーレス化や審査員向け及び登録組織向けシステムのW E B ページの拡充、職員の力量向上や情報共有と進捗管理の徹底等による顧客サービスの向上・業務効率化等を推進。
- 情報セキュリティマネジメントシステムの導入説明会、品質・環境・クラウドセキュリティ認証の規格改訂セミナーの参加者へのアプローチ及び審査員・コンサルタントを通じた顧客の獲得に注力。

### （調査研究関係）

- 「住宅における良好な温熱環境実現推進フォーラム」参加団体等とのネットワークを活用し、消費者及び住宅関連事業者への情報発信を展開。特に、関係団体と連携し、有効で具体的な周知策を協働実施していくことで、業界全体の断熱改修に対する取組み意欲の向上を図るとともに、地方公共団体とより一層連携し、消費者への周知拡大を実施。

### （情報発信・広報関係）

- 財団ホームページを利用者が必要な情報を見つけやすい構成に大規模リニューアルし、その評価を行うとともに、管理指標を明確にして今後の改善に活用。
- 広報戦略のロードマップを検討して消費者認知を向上するための財団のブランディングフレームを策定。